

国語科学習指導案

日時：2005年12月2日（木）5校時
児童：蘭越町立三和小学校3・4学年
3年生 男子0名 女子3名 計3名
4年生 男子1名 女子1名 計2名
指導者：教諭 森川 信弘

1, 教材名 3年生 「のらねこ」

2, 教材について

本教材では、物語文のおもしろさを感じ取らせるとともに、そこから発展させて、児童に読書の幅を広げる教材である。

「のらねこ」は、「かわいがられる」ことを知らないのらねここと、ねこが好きなリョウとのユーモアと優しさが感じられる作品である。また、のらねことリョウの会話や、一人と一匹の様子をおもしろく、軽快な独特の文体で語られているのも魅力の一つである。ねこは、かわいがっても気まぐれで、時には人を馬鹿にした態度をとる。そのようなねこの特性がこの物語をいっそうおもしろくしている。

ユーモアを楽しむと共に、その裏にあるリョウとのらねこ双方の心のありようを感じ取っていくようにさせたい。

3, 教材観

この作品では、一人と一匹の登場人物の会話を中心に描かれている。それぞれの会話文が、誰が言ったものかをきちんと把握して、より深い読み取りをさせたい。また、会話の中にある人物の思いを話し合い、情景を想像して表現豊かに読むことができるようにさせたい。そして、音読を中心とした学習活動を行うことで、物語の細かいところまで思い描くことができるようにさせたい。

児童の日常にありがちな猫との対峙を取り上げることで、動物への愛情もはぐくみ、動物に対しての感情の変化も起こりうると考えられる。身近にいる動物だからこそ、より人間らしい思いを移入することができるのであり、この作品をきっかけに読書が好きになるようにさせたい。

4, 児童の実態

授業の時は、3名とも集中して話を聞いたり活動したりしている。ただ個々の学力差が大きく、一人の児童に付きっきりになることもある。

読みは、どの子も自主的に読もうとするが、読む力に差があって、人物の心情や情景の様子を読み取るのに時間がかかる。発言についても積極的に発言しようとする気持ちが見られる。3人とも、読書は好きで、空き時間や家庭などで積極的に読書をしている。この教材を通して、読むことの楽しさをもっと知り、情景を想像しながら読むともっとおもしろく読書ができることを気づかせたい。

話し合いについては、他の児童の意見を正しく理解し、自分の意見を分かりやすいように伝えようとする気持ちも見られる。しかし、強く意見を主張する児童にたいして他の子どもが言い返せない現状もある。

どの児童も漢字が苦手なので、單元ごとに漢字の書き取りをおこない、定着をはかっている。

5, 研究仮説との関わり

○研究仮説1

「話す」「聞く」「書く」「読む」などの言語活動を中心とした学習活動を意図的・計画的に学習過程に位置づけることにより、自分の思いを確かに表現する力を育てることができる。

4年生 「アジアの笑い話」

本教材では、「笑い」に関連した読書をしたり、発表し合ったりする活動で、読書の幅を広げる教材である。

「アジアの笑い話」は、トルコ・中国・朝鮮・日本というアジア四カ国の代表的な笑い話を取り上げられている。この教材では、日本だけではなく、アジアにまで笑い話があることを知ることによって、世界の笑い話のおもしろさを発見することになる。教科書に登場する笑い話は、どれも気楽に読むことができ、おもしろさも実感できる。それぞれの話の展開のおもしろさと同時に、登場人物のおもしろさも味わいながら読み進めていきたい。

この教材では、話の展開のおもしろさ、人物のおもしろさを読むことが大切である。一つひとつの作品について、どこがおもしろいのかを理解し、作品の構成内容や人物の心情の移り変わりなどを把握できるようにさせたい。

特に、落語「ぞろぞろ」は、他の民話に比べて話が長いので、場面の様子や心情の移り変わりに注意して読み取らせるようにする。場面ごとの情景を想像できないと、落語は楽しむことができない。日本の伝統芸能のひとつである落語を通して、古典芸能に興味を持つとともに、様々な落語の話に興味を持てるようにさせたい。

2名とも国語の授業はおおむね好きである。漢字も面倒くさがるが覚えるのは早く、その単元内での定着ができていく。しかし、自分の意見を発言したり自分の考えを発表することが苦手なことも事実である。また、一人の児童の意見に流されてしまう傾向もある。

音読はそれなりにできるが、登場人物の心情を考えたり、情景を考えた読みがまだできていない。1名については、一度で質問の意図を理解することが難しい。何度も読み込むことで、教材の本質にせまることができるようにさせたい。

話し合いについては、二人学年ということで3年生も交えた討論会や話し合い活動を行ってきた。二人だけでは、一方の児童の意見にもう一人の児童が流されるだけで、自分の考えや意見を表現できない。ここでは、笑い話のおもしろさを理解する上での素直な心を発揮してもらいたい。

今年度は、読み物教材を通してお互いの意見を聞き、話し合う活動に重点を置いている。国語の年間指導計画では、単元の構成を考慮しながら学級全体、あるいは学年で話し合う活動を取り入れた。本時では、のらねこの心の動きを話し合う場面を設定して、少人数でも話し合うことができるような内容とした。また、本教材では、場面の叙述と登場人物のやりとりに注目して感じたことや思ったことを話し合うことで、幅広い読書ができるようにしていきたい。

年間指導計画に基づいて、各単元ごとにそれぞれの目標を設定して、それに向かった具体的活動計画を作成した。特に話し合い活動については、学年ごと、あるいは学級単位で教材の内容や登場人物の心情や情景についてその機会を設けた。この教材では、書くことも話すことも重要であるが、「読む」ことに焦点を当てて、聞き手にうまく伝えるための読み方の工夫を話し合い、実践する。

○研究仮説 2

個々に自己表現できる場を保証し、工夫や改善をすることにより、自分の思いを豊かに表現することができる。

朝の会や帰りの会では全員が発表し、全校の発表朝会では学級全体で一つの発表に取り組んでいる。他の学習時間では、自分の意見を述べる時間を保証して、自分が伝えたいことを考えながら発言できるように心がけてきた。常に3人の意見や考えを聞くようにして、意見交流がしやすい環境づくりをすることで、豊かに表現できるようになると考えた。

学級の中心として様々な場面で発表している。発表朝会では2人ながら、4年生としてふさわしい内容を発表している。各教科では、一人の意見ではなく二人に考えや気持ちを発表して、話し合いができるような環境作りを目指している。発表することに自信をつけていくことで、さらに自分の思いを豊かに表現できると考える。

6. 教材の目標

◎リョウとのらねこのやりとりのおもしろさを感じ取り、おもしろい場面の情景を想像しながら読み、他の作品にも目を向けて、幅広く読書をする。

◎笑い話のおもしろさを味わいながら読み、笑いと人間の関係について考えるとともに、幅広く読書をする。

具体的評価基準

(1) 関心・意欲 ・態度	①教材文に興味を持ち、計画的に学習を進めようとしている。 ②自分が考えたことや感じたことを書こうとしている。
(2) 話すこと・ 聞くこと	①自分の考えを持って、みんなの前で発表している。
(3) 書くこと	①のらねこやリョウの様子や人柄を叙述をもとに書いている。
(4) 読むこと	①場面の移り変わりや情景を基に、登場人物の心情を考えながら読む。 ②登場人物の時間的心情の変化に気をつけながら読む。
(5) 言語事項	①語句の使い方を理解している。

(1) 関心・意欲 ・態度	①学習の見通しを持ち、進んで読もうとしている。 ②笑い話を積極的に読もうとしている。
(2) 話すこと・ 聞くこと	①自分の考えがわかるように、筋道を立てて話したり、友達の考えを聞いている。
(3) 書くこと	①書く必要のある事柄を収集・選択して、中心を明確にして書く。
(4) 読むこと	①読むときの注意点を考えて、実際にやってみる。 ②会話文をその人の気持ちになって読む。
(5) 言語事項	①難しい語句や漢字を調べて、その意味を理解している。

7. 指導計画

9時間（本時7／9）

9時間（本時7／9）

	学 習 活 動	評価との関連
1	・教材の見通しを持ち、学習計画を立てる。 ・教材について話し合い、「のらねこ」を読み、初発の感想を書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">おもしろかったところを 発表し合おう</div>	・「のらねこ」を読んで、おもしろかったところや人物の様子をノートに書く。(1) ① ・新しい漢字を書く。 (5) ①
2	・1の場面を読んで、どんなのらねこかをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">どんなのらねこかを読み取る</div>	・1の場面を読んで、のらねこの行動とその様子をつかむ。(4) ①

	学 習 活 動	評価との関連
1	・教材の見通しを持ち、学習計画を立てる。 ・「ホジャ物語」読み、おもしろいところや二つの話について共通したところを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">二つのお話で、どこがおもしろいか話し合おう</div>	・話の内容を理解し、おもしろいところを見つけている。 (1) ① ・新しい漢字を練習する。 (5) ①
2	・「アーファンティ物語」についてそのおもしろさについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">二つのお話で、どんなことがおもしろいかを話そう</div>	・おもしろいと思うところを見つけながら、進んで読もうとしている。 (1) ②

3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2の場面を読み、のらねことリョウの会話を中心にお互いの心の動きをとらえる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">お互いの心の動きを考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 登場人物の心情を会話から考える。(4) ① 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「引っこし」を読んで、場面の様子や人物の心情などについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">大臣の顔がどのように変化したかを話し合おう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の様子や人物の心情について話し合う。(2) ①
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3の場面を読み、かんづめを見つめ合っている二人の気持ちについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">かんづめをみつめる二人の気持ちを書こう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ かんづめをはさんで対峙するリョウとのらねこの気持ちを話し合う。(2) ① ・ そのときの気持ちをノートに書く。(3) ① 	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぞろぞろ」を通読しておもしろいと思ったところをノートに書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">ぞろぞろの、どの言葉がおもしろいか考えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろいと思った言葉を抜き出して、ノートに書く。(3) ①
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3の場面を読んで、のらねこの思いを文章中から探る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">のらねこの心の動きをつかもう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リョウとのらねこの心の動きを会話文から考える。(4) ② 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面の様子や人物の心情の移り変わりに気をつけながら、「ぞろぞろ」の肇の部分詳しく読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">ばあさんとじいさんに分かれて読み合おう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二人で発表し合う。(2) ① ・ まず、ばあさんとじいさんに分かれて読んでみる。(4) ②
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4の場面を読んで、会話文の読み方を工夫して、登場人物の気持ちが表現できるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">気持ちが伝わるように、会話文を読んでみよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ どの会話文をどのように読むと人物の気持ちが表現できるかを考える。(4) ① 	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 展開の部分を読み方を工夫しながら読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">工夫してぞろぞろを読もう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもしろいと思ったところを読んで、どんなことがおもしろいかを考える。(4) ①
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ リョウとのらねこの気持ちを読み取り、心情豊かに読む。(本時) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">リョウとのらねこの心の動きを考えて読もう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ のらねこに近づくリョウの心情と、のらねこの心情を話し合う。(2) ① ・ 心情豊かに読む。(4) ① 	7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ぞろぞろ」の結末部分をどのように読めば聞き手に伝わるかを考える。(本時) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">ぞろぞろの落ちの部分を工夫して読もう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ CDを取り入れて、イメージをふくらませて読んでみる。(4) ①
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5の場面を読んで、のらねこの気持ちを考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">3人を見て、のらねこはどんな気持ちになっただろう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲良く走っていく三人の姿を見て、のらねこの気持ちを考える。(1) ② 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音読台本を作り、工夫するところを注意して読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px 0;">声の強弱、間の取り方を書き込んで読もう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 落語のような読み方をするための、簡単な台本を作り、読む。(4) ①
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の本を読んでみよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書室などで、ねこのお話を探して読む。(1) ① 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の落語の本も探して読んでみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな落語の本を読んで、世界を広げる。(1) ②

8, 本時について

(1) 本時の目標

- ・ 主人公たちの心情がわかるように表現豊かに読む。(読むこと)
- ・ 自分の考えや思いを発表したり、他の人の考えを聞く。(話すこと・聞くこと)

(2) 本時の展開→次のページ

- ・ 落ちの部分を、聞き手にうまく伝わるように読み方を工夫する。(読むこと)

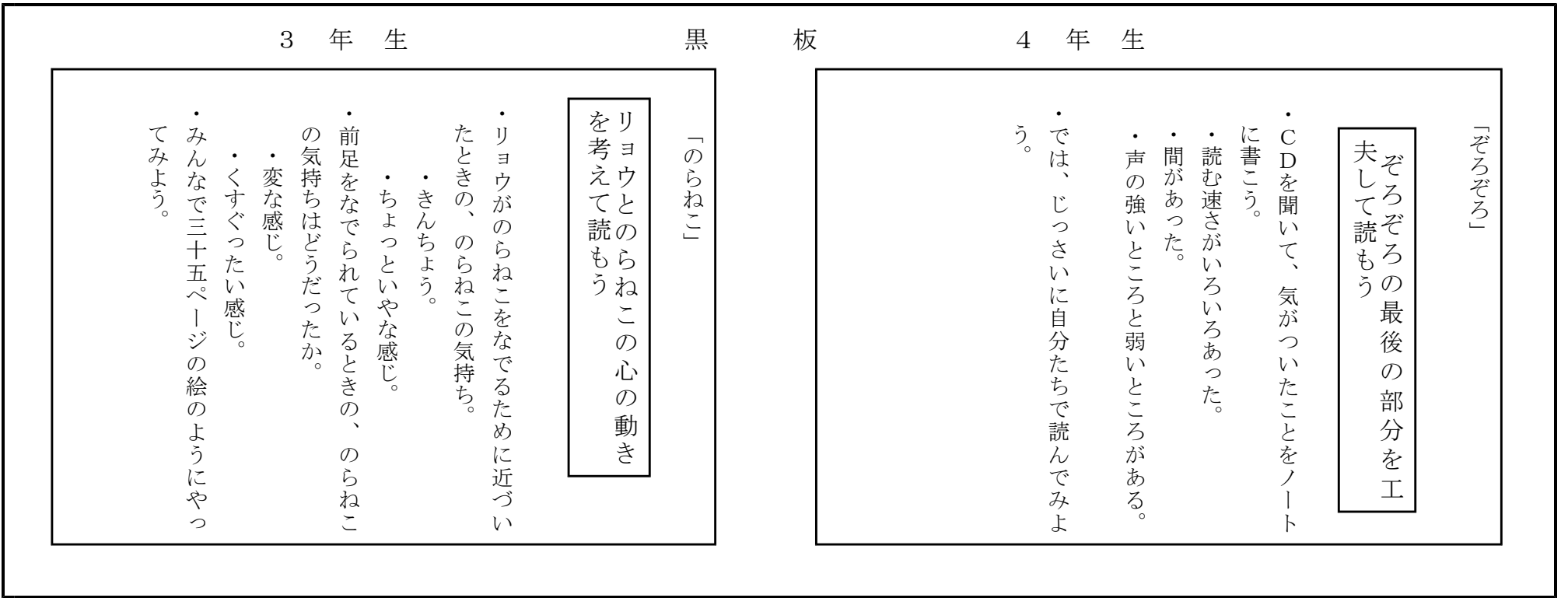
	児童の活動	教師の支援			児童の活動	教師の支援	
つかむ	1, 今日のめあてを確認する。 リョウとのらねこの心の動きを考えて読もう		支 援	支 援	1, 今日の部分を音読する。 2, 今日の目当てを読む。	○落ちの部分を読み深めておくようにさせる。 「今日のめあてはこれです。読んでもらいます。」	つかむ
	2, 4の段落の後半を音読する。 ・一人音読3回 ・段落読み2回	○しっかりと声が出せるように確認しながら読むようにさせる。			ぞろぞろの落ちの部分を工夫して読もう	3, CDで落語の世界を研究する。	
かえんが	3, リョウがのらねこに近づいていくとき、のらねこは気持ちを考えて、ノートに書く。 4, できたら、お互いに発表し合う。 ・少しづつきんちょうした。 ・びくびくしながら待っている。 5, そっと前足で前足の先をなでられているとき、のらねこはどんな気持ちだったかを考える。 反応 ・くすぐったいかんじ ・心がおだやかになる気持ち ・うれしい気持ち	「リョウがのらねこに近づいていくとき、のらねこはどんな気持ちだったのだろうか。」 ○書けているかどうかを見回る。書けていない児童は、考える手だてを伝える。 「では、発表してもらいます。」 ・自分の考えを発表したり、人の話を聞く。 <u>評価→(話すこと・聞くこと)</u> 「前足の先をなでられているとき、のらねこはどんな気持ちだったのだろうか。」 ○自分の体験を思い出せるように声かけをする。 ・自分の考えを発表したり、人の話を聞いてお互いの感触を確かめ合う。評価→(話すこと・聞くこと)	支 援	支 援	4, CDの落語で気づいたことをノートに書いていく。 ※一度ではわからないかもしれないので、何度も繰り返し聞くことができるようにCDを編集しておく。	○表現読みと、落語の読み方でどこに違いがあるかを書く。 ※書けない児童に対しては、着眼点を教えて気づくことができるようにしておく。(てだて)	かえんが
	6, 35ページの挿絵のに吹き出しをつけて埋める。 7, できたらお互い発表しあう。	「では、35ページのようにお互いやってみて、吹き出しに言葉を埋めよう。」 ○自由にやってみながら、それぞれの吹き出しを完成させる。できたら黒板に貼っていく。 「それぞれの吹き出しを発表しよう。」 ○書いたものを発表する。お互いに感想を言い合う。	支 援		5, 落語の語り方で気をつけることを発表する。 ・間の取り方 ・声の抑揚 ・話す速さ 5, 自分たちも、それに気をつけて落ちの部分を読んでみる。 ・できたかどうか、お互いに確認し合う。	「どんなところに気をつけているだろうか。」 ○話し方に絞って進めていくようにする。 「では、自分なりに工夫して読んでみよう。」 ○落語の話し方を参考に、聞き手にうまく伝わるように話すことに心がける。 ・できていない人は、他の人にどうしたらよいかを相談できるようにしておく。(てだて)	
ひろげ	8, 本時の部分をみんなの前で読んでみる。 9, 振り返りカードに記入する。	「では、みんなで読み方がどう変わったか、聞いてみよう。」 <u>場面の移り変わり情景を、叙述をもとに想像しながら読む。 ※評価→(読む)</u>	交 流		6, どのくらいうまく読めるようになったか、聞いてみよう。 7, 振り返りカードに記入する。	○一人ずつ、落ちの場面を読む。 <u>場面の移り変わりや情景を想像しながら読む。</u> <u>※評価→音読(読む)</u> ○今日の学習を振り返る。	ひろげ

(3) 本時の評価

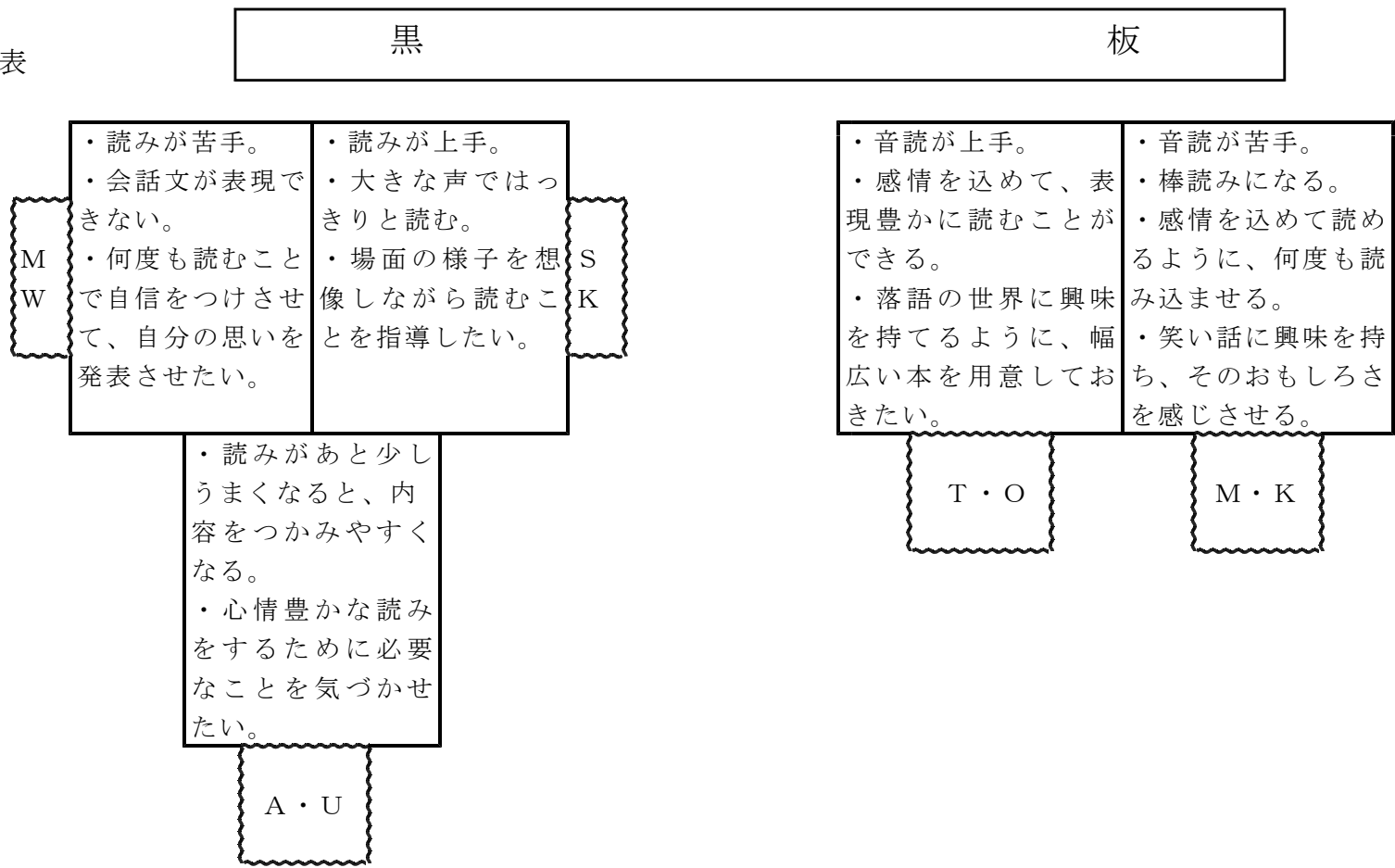
- ・主人公たちの心情がわかるように表現豊かに読めた。(読むこと)
- ・自分の考えや思いを発表したり、他の人の考えを聞いた(話す・聞く)

- ・落ちの部分を、聞き手にうまく伝わるように読み方を工夫した。(読むこと)

(4) 板書計画



(5) 座席表



教材名 (のらねこ)	
氏名	
めあて	
第1時	第5時
第2時	第6時
第3時	第7時
第4時	第8時
第9時	
総合評価	

教材名 (アジアの笑い話)	
氏名	
めあて	
第1時	第5時
第2時	第6時
第3時	第7時
第4時	第8時
第9時	
総合評価	

3年	名前
ふりかえりカード	
月 日	
1, この時間は、楽しかったですか。	()
2, 音読は、はっきりと大きな声で読むことができましたか。	()
3, のらねことリョウの気持ちがよくわかりましたか。	()
4, 自分の考えを書くことができましたか。	()
5, 発表は、がんばることができましたか。	()
できた、わかった . . . ◎	
ふつう、まあまあ . . . ○	
できなかった . . . △	
わからなかった	
今日は 何点だった? → (100点満点で)	点

4年	名前
ふりかえりカード	
月 日	
1, この時間は、楽しかったですか。	()
2, 音読は、はっきりと大きな声で読むことができましたか。	()
3, 笑い話のおもしろさがよくわかりましたか。	()
4, 相手に伝わるような読み方がわかりましたか。	()
5, 先生や友達の話聞くことができましたか。	()
できた、わかった . . . ◎	
ふつう、まあまあ . . . ○	
できなかった . . . △	
わからなかった	
今日は 何点だった? → (100点満点で)	点

8、本時の展開

(1) 目標

- ・主人公たちの心情がわかるように表現豊かに読む。(読むこと)
- ・自分の考えや思いを発表したり、他の人の考えを聞く。(話す・聞く)

- ・おもしろいと思う場面を選び、聞き手にそれが伝わるように読み方を工夫する。(読むこと)

(2) 展開

	児童の活動	教師の支援		児童の活動	教師の支援	
つかむ	1, 4の段落をみんなで役を決めて読む。(役きめ読み)	○どのように読んだらいいかを考えながら読むように声かけをする。	支	1, 今日の目当てを読む。	「今日めあてはこれです。読んでもらいます。」	つ
	2, 今日めあてを確認する。 リョウとのらねこの心の動きを考えて読もう		援	ぞろぞろの一番おもしろいところを工夫して読もう		か
かんがえる	3, 「かわいがられる」とはどういうことかを考えて、ノートに書く。 反応 ・売っていないから。 ・お母さんがいなくて、おしえてもらえなかった。	「どうして、のらねこはかわいがられるということがわからないのだろうか。」 ○書いているかどうかを見回る。書けていない児童は、考える手だてを伝える。 <u>※お互いの考えや気持ちを進んで話し合う。評価→話し合い(聞く・話す)</u>	支	2, CDで落語の世界を研究する。	「CDで落語の語り方を研究しよう。」 ○ふつうの読み方と、落語の読み方でどこに違いがあるかを書く。	か
	4, できたら、お互いに発表し合う。		支	3, CDの落語で気づいたことをノートに書いていく。	○ふつうの読み方と、落語の読み方でどこに違いがあるかを書く。	ん
ふかめる	5, 実際に、挿絵のようにそれぞれ役を決めてやってみる。	「では、それぞれのらねことリョウになって、実際にやってみよう。」 ○自由にできるように、3人で話し合いながらやってみるように伝える。	支	4, 落語の語り方で気をつけることを発表する。 ・間の取り方 ・声の抑揚 ・話す速さ	「どんなところに気をつけているだろうか。」 ○話し方に絞って進めていくようにする。	が
	6, そっと前足で前足の先をなでられているとき、のらねこはどんな気持ちだったかを考える。 反応 ・くすぐったいかんじ ・心がおだやかになる気持ち ・うれしい気持ち	「前足の先をなでられているとき、のらねこはどんな気持ちだったのだろうか。」 ○自分の体験を思い出せるように声かけをする。 <u>※評価→話し合い(聞く・話す)</u>	支	5, 自分たちも、それに気をつけておもしろい部分を読んでみる。 ・できたかどうか、お互いに確認し合う。 ・できていない人は、他の人にどうしたらよいかを相談する。	「では、自分なりに工夫して読んでみよう。」 ○落語の話し方を参考にし、聞き手にうまく伝わるように話すことに心がける。	え
ひろげる	7, 各自で、読む練習(黙読)をする。	○交流の時にどのように読めばよいか考えながら読むように声かけをする。	援			る
	8, 本時の部分をみんなの前で読んでみる。	「では、みんなで読み方がどう変わったか、聞いてみよう。」 <u>場面の移り変わりや情景を、叙述をもとに想像しながら読む。※評価→音読(読む)</u>	交	6, どのくらいうまくできるようになったか、聞いてみよう。	○一人ずつ、自分が選んだ場面を読む。 <u>場面の移り変わりや情景を想像しながら読む。</u> <u>※評価→音読(読む)</u>	ろ
	9, 振り返りカードに記入する。		流	7, 振り返りカードに記入する。	○今日の学習を振り返る。	げ

(3) 評価

- ・主人公たちの心情がわかるように表現豊かに読めた。(読むこと)
- ・自分の考えや思いを発表したり、他の人の考えを聞いた。(話す・聞く)

- ・おもしろいと思う場面を選び、聞き手にそれが伝わるように読み方を工夫した。(読むこと)